

何か色々 作詞集。

草花 小路

- ・ 詞の順番は、古いもの順です。
- ・ よくわからない詞があったら、あとがきに意味とか書いてるかもしれません。
- ・ 作った人（私です）が中学生なので、ガキっぽいのはご了承の上ご覧ください。
- ・ タイトルのとおり、ジャンルは決まっておりません。が、恋愛系が無駄に多いです。
- ・ 最初の方は、本当になんか...あれ...なので、見ないほうがいいかもしれませんが、よかったら...
- ・ 曲は付けていないので、作って下さる方はお願いします。（詳しくはあとがきへ）

それでは、ゆるーく ひろーい心で ご覧くださいませ。

あ、頭の中で適当にメロディつけて、見てみると面白いかもしれませんよ(・ω・*)

君のために70%

いつか、いつか いつの日か君は…

私に恋をする！

君が、星が好きだというから、勉強してみたの

ただ、君との話題が欲しいだけよ。

でも、でも本当は 君の笑顔が見たかったの！

君の笑顔が宝物！なんて、キレイごともいいでしょ？

たまには、私だって『オトメ』になりたいのよ！

だから、君のために70%！…だから笑顔で

せめて、30%くらい私のために…いいじゃない！

だって！だって…私を好きになってほしい だけなの。

人間、『アイ』が無いと、生きていけないわ

だから、別にいいでしょ？

だって、だって これは純粋な恋なのだから！

勉強が恋人！なんて、無理にもほどがあるでしょ？

たまには、恋の『おべんきょう』も必要なのよ！

いつか、君のために70%！…の愛を

そして、30%くらい私のために…コレもお勉強よ！

だって！だって…私を愛してほしい だけなの。

君に70%、せめて、私に30%

30%は多すぎるかな？

だって、でも 君に『ウソ』なんてつけないわ！

嘘つきな女！なんて、君は絶対キライでしょ？

たまには、嘘もいいけど君に『きらわれたくない』の！

だから、君のために70%！…嘘じゃないわよ

せめて、30%くらい私のために…素直でいいでしょ！
だって！だって…私を嫌わないでほしい だけなの。

さあ、『ココ』からが本番よ！
終了と開始のチャイムが鳴り響く。

高鳴る鼓動は私の、君に対する本当の『キモチ』…
だから
だから、君のために70%！…いつだってそうなの
せめて、30%くらい私のために…少しくらい良いじゃない！
だって！だって…これから『コクハク』なのだからー

Thank you...

どこにも居場所が無いボクを救ってくれたのは、君でした

暗くて、寂しい、『コドク』の中
ボクは『だれか』を必要としてた
君は、ボクの『コドク』を照らしてくれた
まるで、明るく、輝く 太陽のようでした
きっと、君が『だれか』なのでしょうー

ありがとう、アリガトウ、有り難う たくさんの
ボクから君に、感謝の気持ちを
ありがとう、アリガトウ、有り難う

ボクから君に thank You For youー

生きる理由がわからない、ボクを救ってくれたのは、君でした

色あせた、退屈な、『ヒビ』の中
ボクは『なにか』を必要としてた
君はボクの『ヒビ』を染めてくれた
まるで、美しく、鮮やかな虹のようでした
きっと、君が『なにか』なのでしょうー

ありがとう、アリガトウ、有り難う ホントに
ボクから君に、感謝の気持ちを
ありがとう、アリガトウ、有り難う

ボクから君に thank You For youー

君が助けを必要とするその時は
ボクが『だれか』に『なにか』になりましょう

君に感謝を thank You For youー
いつまでも...

隙間風

冷たい風が そっと肌に触れる
窓を向くと、小さな隙間から風が

冷たい 隙間風は、私の心にも触れたようだ

あのときの悲しみが 寂しさが
また、よみがえるのー

「さよなら」その一言だけで、終われる位
簡単な関係 だったの？
いまでも、頭から離れないの 視界を曇らせながら見た
君の後姿がー

窓から眺めると 町の夜景が広がる
隙間風は、まだ吹いている

冷たい 隙間風は、私の髪をなびかせる

あのときの気持ちが 嬉しさが
また、よみがえるのー

「きれいだよ」その一言だけで、私の心は
嬉しさで いっぱいだったのに？
いまでも、忘れられないの いつも隣で見ていた
君の横顔がー

私を泣かせている
隙間風は、まだ止みませんー

さあ、みんなで マナーモード！

マー マー マナーモード

さあ、みんなで守ろうよ！

バスや電車の中で 予想外の着信

なんか、周りの人から白い目で見られてる

でも、でも、でなきゃ！ 失礼じゃないかな？

だからって、でちゃうと もっと、睨まれる…

なら、最初からー

マー マー マナーモード

さあ、みんなで守ろうよ！

相手様にも言い訳できるぞ！

しかも、好印象だ！（多分）

マー マー マナーモード

さあ、みんなで守ろうよ！

きっと、これで ー安心さ…（ホッ）

ラーラーラーラー ラーラーラーラー

マー マー マナーモード！

2人で1つ

君がワラウ
私もワラウ
君がヨロコブ
私もヨロコブ

まるで、一心同体みたいね

ずっと、ずっと こうしていたい
だって、だって 好きだから
もっと、もっと 近づきたいの

いつだって そばに居てよ
私たちは、2人で1つなんだから！

君がカナシム
私もカナシム
君がナイトル
私もナイトル

まるで、一心同体みたいね

ずっと、ずっと こうしていたい
だって、だって 好きだから
もっと、もっと 近づきたいの

いつだって 隣に居てよ
私たちは、2人で1つなんだから！

いつだって 忘れはしない
たとえ、離れていても一

私たちは、2人で1つなんだから！

うちぬけ！～君のココロ～

らーらーらー… らーらーらー…

うちぬけ！！

君のココロ、なんて見にくいの

これじゃ、的が定まらないわ！

キューピッドじゃ、ないけれど

君のココロにハートの矢をうつの！

外したら、もう 『おしまい』 だけど

うってみないと、始まりもしないわ！

君のココロー

うちぬけ！うちぬけ！ 時間だけが無くなってゆく

早くしないと、もう、ゲームオーバー 早すぎるわ！

うちぬけ！うちぬけ！ 外さないように

狙いを定めてー うちぬけ！

君のココロ、見えなくなっていく

これじゃ、手が震えてどうしようもない！

キューピッドじゃ、ないけれど

君のココロにハートの矢をうちたいの！

外したら、もう 『おしまい』 だけど

うってみないと、始まりもしないのよね？

君のココロー

うちぬけ！うちぬけ！ 不安なんて脱ぎ捨てて

早くしないと、もう、ゲームオーバー 早すぎるわ！

うちぬけ！うちぬけ！ 慎重にそっと

狙いを定めてー うちぬけ！

ねえ、心配なんて要らないよね？
だって、不安なんて無いはずだ
なにを弱気になってるの私ー

自分のココロに正直になれ！！

君のココロー
うちぬけ！うちぬけ！ もう、迷いなんて無い
早くしないと、また、不安にー なんてならないわ！

うちぬけ！うちぬけ！ 『スキ』だという気持ち
狙いを定めてー うちぬけ！

月明かりに照らされて。

君の横顔 見ていられるだけで
なんだか、ココロが暖くなる。

そう、これが 恋なんだ

月明かりに照らされて、きらめく街の中で
私は、今 君と手と手をつないでるー

このときが、ずっと ずっと続きますように
私は、星に願った。
どうか、いつまでも こうして、いられるように...

君の笑顔 見ていられるだけで
なんだか、ココロが幸せになる。

そう、これが 恋なんだ

月明かりに照らされて、きらめく君の隣で
私は、今 君と心と心をつないでいるー

この思いが、ずっと ずっと変わらないように
私は、星に願った。
どうか、いつまでも こうやって、笑ってるように...

月明かりに照らされる、二人は 星に願った。
ずっと、いつまでも 二人でいられるように...と

マエニススメ!!

Ahー

ボクは一体何をしたいんだろう？

疑問を抱く 今日、この頃。

そんなことしたって、意味は無いのに

だって、答なんて出ない。

いつか、こうなりたいな、なんて

タダの理想でしょ！

なにもしないくせに、どうやってなるの？

なにもしない日々 そんなの何の意味もない

思ってるだけなんて、時間がムダなだけ。

何をそんなに迷ってるの？ 何でそんなに立ち止まっているの？

人生失敗だらけ いつかはそれも笑い事 Ahー

なら、自分から答を求めに試してみてもどうですか？

正解か不正解かなんて自分で決めればいい

理想だって、追ってみても良いじゃない！

成功も失敗も、きっと役に立つから。

少しくらい、マエニススメ 自分！

ボクは何でこんな事をしたんだろう？

後悔をする 今日、この頃。

そんな悩んだって、意味はないのに

だって、もう戻れやしない。

自分には出来ないんだ、なんて

タダの決めつけでしょ！

やってもないくせに、諦めてるの？

なにもしない日々 そんなの何の意味もない

思ってるだけなんて、時間がムダなだけ。

何をそんなに気取ってるの？ 何でそんなに不安がってるの？

人生間違いだらけ いつかはどれも笑い事 Ahー

なら、この時を精一杯生きてみてはどうですか？
正解か不正解かなんて、自分で決めればいい
出来なくたって、やってみても良いじゃない！
成功も失敗も、きっと役に立つから。
少しくらい マエニススメ 自分！

変えてみたいと思いませんか？自分の未来を—Ah—
なら、不安がって立ち止まってないで...
マエニススメ!!

進む先には、君の『ミライ』が待っているから—

おとしもの。

「アレッ...？」

気づいたら無くしていた。

それは、何なのかわからない

でも、そう失ったの！

ボクは『それ』を『どこ』に落としてきたんだろう？

何なのか どこなのか

わからないのに、どうやってなにをどこを探せばいいの!?

ねえ、『それ』は何なの？

友だち？ 家族？ 涙？ 愛？ 心？ それとも一

ねえ、『どこ』で落としたの？

公園？ 家？ 森？ 海？ 空？ それとも一

わからないから、ボクは

『コウドウ』してみることにしました。

『それ』が『どこ』にあるのかわからないけど、

「もしかしたら...」という小さな希望だけを持って一

ねえ、『それ』は何なの？

友だち？ 家族？ 涙？ 愛？ 心？ それとも一

ねえ、『どこ』で落としたの？

公園？ 家？ 森？ 海？ 空？ それとも一

わからないけど、ボクは今日も『コウドウ』してみます。

『それ』が『どこ』にあるのかわからなくても、

「もしかしたら...」という少しの希望だけを持って一

君と一緒に！

「どこへ行くにも、君と一緒に！」
だなんて、欲張りすぎかな？
だって、「好きなんだ」とか言われたら
先走っちゃうもんでしょ？

いつもと、変わらないはずの青い空に
虹が見えた気がした。
あの、どこまでも続く空みたいに
二人で ずっといれたら、いいな…

いつだって、君と一緒に！
ずっと、ずっと このままでいたい。
だから、この気持ち 変わらぬように
いつも、私だけを 見ていてね！
君と一緒にが 一番なの！

「何をするにも、君と一緒に！」
だなんて、無理すぎるのかな？
だって、「付き合っ」てとか言われたら
舞い上がっちゃうもんでしょ？

いつもと、変わらないはずの景色に
色が足された気がした。
この、カラフルな景色を
二人で ずっと見れたら、いいな…

いつだって、君と一緒に！
ずっと、ずっと 変わらない気持ち。
だから、この気持ち 受け止めていて
好き、好き 言い足りないの！
君と一緒に いつまでもー！

恋愛距離感

全然 測れない距離 遠いのかな？近いのかな？

キミをふと見つめては、思うんだ。

まるで、空に浮かぶ雲のように 不安定な心

キミに近づいたり、離れたり

立ち止まっていると、キミの背中が見えなくなっていく

距離が離れていくの。

だから、私は走るんだ

キミに追いつくために 思い告げるために一

さあ、距離を縮めよう

恋愛距離感 つかめなくたって大丈夫！

キミの面影、たどって行けるわ

だからね、ちょっと、待っててね！

きっと、もう 近づいてるの

全然 わからない距離 何メートル？何センチ？

キミを思い浮かべては、考えてみる。

まるで、夜空を照らす星のように きらめく心

キミに近づいたり、離れたり

キミの背中が見えると、もう一歩が届かなくなって

そこから動けなくなるの。

だからね、ちょっと待ってるね！

キミは、そっと 近づいてるのー

もう、距離なんてないわ だって

キミが私を抱きしめてくれてるから！

紙キライ

神様なんて、キライだ！

私がこんなに悲しんでるのに、隣に誰もいてくれない...

どうしたら、自分をスキになれるのかな？

もう『私』が分からなくなってきた

ねえ、何で？ どうして？ 私をスキになんてくれないの？

こんなにも、君を好きでいるのにー

Ah どうして...？ ねえ 何で...？

神様なんて、いても意味ないでしょ！

願いを叶えてくれなきゃ、祈ってもムダじゃん。

神頼みとか言っちゃって、ただなにもしないだけだったの。

Ahー

神様なんて、大キライ、大キライ！

心に響く、雨音。なんで、願い叶えてくれないの？

今日くらい、晴れにしてくれたっていいでしょ！

どうしたら、私をスキになんてくれる？

また、泣きたくなってきた

ねえ、何を？ どうしたら？ 私をスキになんてくれるの？

こんなにも、君を思っているのにー

神に様なんて、つけなくていいでしょ！

『神』とかただの薄っぺらい『紙』でいいじゃん。

偉そうにしちゃって、何もしてくれない『紙』だったの。

Ahー

『紙』なんて、いない、キライ、キライ！

心に溜まってく、雨水。何で、こんなに祈ってるのに？

一つくらい、叶えてくれたっていいでしょ！

新『ワタシ』

退屈すぎる毎日 いつもと変わらない朝
鏡に映るは いつもと同じ『ワタシ』

なにもかもが、普通すぎて笑えて…こない
だって、人生に変化は必要よ！
なのに、『ワタシ』なにも 変わらない。
扉を開ければ、昨日も見た風景 そう、変わってないー

どうしたら、生まれ変われるだろうか？
『生まれ変わる』＝『死ぬ』 なの？
誰も教えてくれないから、自分で探してみるんだ

苦しすぎる毎日 何も変わらない夜
目に浮かぶは 何故か同じ『ワタシ』

もう、すべてが、悲しすぎて泣けて…くるけど
そうよ、泣いてたって意味無いわ！
だから、『ワタシ』なにも 変わらない。
歩き出せば、昨日と違う夜空 そう、変わってくるのー

どうしたら、歩き出せるだろうか？
『歩き出す』＝『さよなら』 なの？
誰も知ってはいないから、自分で探しに行くんだ

新しい『ワタシ』を見つける ためにー！

アマオト

君想い ただ泣いて、泣いて
『アマオト』は
私の心の中で 静かに鳴り響くー

出会いの言葉は 「おはよう」
驚いた言葉は 「好きだよ」
嬉しい言葉は 「ありがとう」で
別れの言葉は 何もなくー

過ぎ去った あの頃の
言葉たちが、脳内 駆け巡り
雨となって、消えていく。

降り続く雨は、ただ しとしとと しとしとと
流れゆく涙は、ただ ぽたぽたと ぽたぽたと

君想い ただ泣いて、泣いて…

出会いの場所は 正門前
告白の場所は 校舎裏
デートの場所は 色々で
別れの場所は どこだったー？

戻らない あの日々の
記憶たちは、脳内 駆け巡り
涙となって、消えていく。

降り止まぬ雨は、ただ しとしとと しとしとと
止らない涙は、ただ ぽたぽたと ぽたぽたと

君想い ただ泣いて、泣いて
『アマオト』は、微かに 鳴り響くー

覚えていますか？

君が行く その前に、伝えたかったー

「記憶なんて曖昧さ。」

誰かが、いつか 言った言葉

そんなの、嘘っぱちだよ、って 言ってやりたいわ。

今も覚えてる、君の声も 笑顔も 言葉も…

本当に。

悲しさも、苦しさも

君と居られればそれでよかったのにー

今も、私は覚えてるよ 君の事を。

君は、覚えていますか？ 私の事を。

君が行く その前に、伝えたかった言葉1つ

涙ともに、こぼれたー

「いつまでも一緒さ。」

君が、あの日 言った言葉

そんなの、嘘だったよ、って 言えたらいいのに。

今も探してる、君の声を 笑顔を 言葉を…

ずっと。

楽しさも、嬉しさも

君が居なければ悲しみに変わるー

今も、私は覚えてるよ 君の事を。

君は、覚えていますか？ 私の事を。

君が行く その前に、伝えたかった言葉1つ

終わってから、つぶやいたー

「君を愛してるよ。」

ラ之歌

ラで始まり ラで終わる ラ之歌

ラーララララ 歌いましょうか
ラーララララ 踊りましょうか
ラーララララ 私と一緒に

現実にも 妄想にも、飽きた少女は何 歌う？
独り 寂しく泣いていた、少女は少女は何 歌う？

ラララ ラララ ラララララ
それは、悲しみの歌 ラララ
それは、苦しみの歌 ラララ
それは、寂しさの歌 ラララ

ラで始まり ラで終わる 少女之歌

ラーララララ 笑いましょうか
ラーララララ 叫びましょうか
ラーララララ 私と一緒に

歩くことさえ 逃げることさえ、止めた少女は何 歌う？
独り 声殺し泣いていた、少女は少女は何 歌う？

ラララ ラララ ラララララ
それは、諦めの歌 ラララ
それは、少女の歌 ラララ
それは、理想の歌 ラララ

ラで始まり ラで終わったー 「サヨナラ」

夕 の 歌

夕で始まり 夕で終わる 夕の歌

タッタタッタ 歌いましょうか
タッタタッタ 踊りましょうか
タッタタッタ 僕と一緒に

現実にも 妄想にも、飽きた少年は何 歌う？
独り 寂しく泣いていた、少年は少年は何 歌う？

タタタ タタタ タタタタタ
それは、悲しみの歌 タタタ
それは、苦しみの歌 タタタ
それは、寂しさの歌 タタタ

夕で始まり 夕で終わる 少年の歌

タッタタッタ 笑いましょうか
タッタタッタ 叫びましょうか
タッタタッタ 僕と一緒に

歩くことさえ 逃げることさえ、止めた少年は何 歌う？
独り 声殺し泣いていた、少年は少年は何 歌う？

タタタ タタタ タタタタタ
それは、諦めの歌 タタタ
それは、少年の歌 タタタ
それは、理想の歌 タタタ

夕で始まり 夕で終わる 「僕の歌。
でも、でも、ほんの少しでも、光があるのなら、僕は。僕らは…
また、歌おう。」

光を見つけ 止めることなど、止めた彼らは何 歌う？
独り じゃないと知った、少年は少女は何 歌う？

タタタ ラララ タラタタタラタ

それは、輝きの歌 タタタ

それは、希望の歌 タタタ

それは、二人の歌 タタタ

夕で始まり 夕で終わったー 「また明日」

占いVS僕ら

いつか聞いた、占い師によると
僕らの相性は最悪なんだって。
でもさ、そんなのは、嘘だと思えるんだ

君はいる、 ここにいる、 隣に居る、 僕の。
僕はいる、 ここにいる、 隣に居る、 君の。

ほら ねえ？占いなんて、結局は嘘でさ
事実ではないと思うんだ
それを僕らは、示しているだろう？

ねえ ねえ ねえ、君はこの声が聞こえる範囲に居るよ。
ほら ほら ほら、僕は君の音が聞こえる場所に居るよ。

占いは、僕らに負けたみたい（笑）

いつかやった、おみくじによると
僕らってうまくいかないんだって。
でもさ、そんなのは、嘘だと思えるんだ

君はいる、 ここにいる、 傍に居る、 僕の。
僕はいる、 ここにいる、 傍に居る、 君の。

ほら ねえ？おみくじなんて、結局は予想でさ
結果にはならないと思うんだ
それを僕らは、示しているだろう？

ねえ ねえ ねえ、君はこの思いが伝わる範囲に居るよ。
ほら ほら ほら、僕は君の思いが聞こえる場所に居るよ。

占いは、僕らに負けたみたい（笑）

I+LOVE=YOU!

La La Laー I LOVE YOU!

私と愛を足すと、アナタになるの。
なぜなら、私がアナタのこと 愛してるから！
こんなこと、言われて 恥ずかしいのはわかるけど
お願いだから、目をそらさないで。

まあ、でもね。
顔を赤らめるアナタも、かわいいと思う！
ていうか、どんなアナタも 好きなんだー

I LOVE YOU!

収まらない、この気持ち 大好き！
私+（たす）愛=（は）アナタ になる
アナタを愛してるからー 好きだよ！

私からアナタを引くと、0になるの。
なぜなら、アナタが私の 全てだから！
こんなこと、言って 恥ずかしいはずなのに
アナタから、目がそらせられない。

まあ、でもね。
本当はアナタに、目をそらしてほしくない！
ていう、私の気持ち 気づいて欲しいんだー

I LOVE YOU!

止められない、この気持ち 大好き！
私+（たす）愛=（は）アナタ になる
アナタを愛してるからー
アナタが好きだからー I LOVE YOU!

もっと、たくさん、言い足りないの。
だから、これからも、言い続けるわ！

～I+LOVE=YOU～

愛→嘘

この嘘は愛から生まれた
最初は、本物の愛で
君が大好きだった。

でも、君という時間が私にとって
窮屈な時間と化した

そのときから、この本物だった愛は【偽物】になった

アイシテナイ、君を。
これは、愛じゃない。
偽物の愛を今 私は 手にしてる

この気持ちは愛から生まれた
現在は、色々とあって
嘘だらけの気持ちになった。

今、君とここにいることが私にとって
無意味な事と化した

あのときから、この本物だった気持ちは【偽物】になった

アイシテナイ、君を。
これは、愛じゃない。
偽物の愛を今 私は 手にしてるー

いつからか、この本物だった愛は【偽物】になって
明日を遮る嘘と化した

アイシテナイ、君を。
これは、愛じゃない。
偽物の愛を 私は 手に入れたかったー？

嘘→愛

この愛は嘘から生まれた
最初は、ただの気まぐれで
お遊びのつもりだった。

でも、君という時間が私にとって
大切な時間と化した

そのときから、この嘘だらけの愛は【本物】になった

アイシテル、君を。
コレは、嘘じゃない。
本当の愛を今 私は 手に入れた

この気持ちは嘘から生まれた
現在は、色々とあって
本当の気持ちになった。

今、君といられることが私にとって
重要な事と化した

あのときから、この嘘だらけの気持ちは【本物】になった

アイシテル、君を。
コレは、嘘じゃない。
本当の愛を今 私は 手に入れたー

いつからか、この嘘だらけだった愛は【本物】になって
明日を照らす光と化した

アイシテル、君を。
コレは、嘘じゃない。
本当の愛を今 私は 手にしてるー！

長い迷路の中で

「好き」と言えば、離れそうで
「嫌い」と言えば、嫌われそうで
結局、何にも言えない自分が 嫌いになってく

たった、一歩も踏み出せなくて
だけど、一歩も戻れはしない
そうやって、立ち止まってる 私はどこへ向かおうか？

皆 どこかへ進んで、私は 一人、迷子になる一

この、長い迷路だって、きっと出口はある から
一歩、踏み出せば
出口にほんの少しでも、近づけるはず。
分かっているはずなのに、私は まだ、ココにいる

「ダメ」と言えば、終わりそうで
「イイ」と言えば、壊れそうで
結局、何も出来ない自分を 見失ってく

たった、一歩も踏み出せなくて
だけど、一歩も戻れはしない
そうやって、怖気づいてる 私はどこに行けばいい？

皆 どこかへ進んで、私は 一人、泣いている一

この、長い迷路だって、きっと出口はある けど
一歩も、踏み出せないから
一歩先さえも、暗くて見えない。
全部分かっているのに、私は 何故、ココにいるの？

この、長い迷路だって、きっと出口はある はず
一歩でも、踏み出せば
何かが、見えるのかな？

この、長い迷路だって、きっと出口はある から
一歩、踏み出せば
出口にほんの少しでも、近づけるよ。
自分を見つけるために、私は 今、ココから一
歩き出す…

僕について。

笑って、笑って、笑ってよ お願い。

だって、だって、だってさ…

泣いてなんか、無いって また嘘ついて。

大丈夫って、笑って また嘘をつく。

君が笑ってないと、僕が泣いてしまうって

分かっていますか？

知っていますか？

僕について、どう思いますか？ なんて

聞けるわけ、ないって（笑）

好き・嫌い 答えは、二択でお願い します

教えて、教えて、教えてよ お願い。

なんて、なんて、なんてさ…

寂しくなんか、無いって また偽って。

なんでも無いって、笑って また偽った。

君が隣にいないと、僕が寂しくなるって

分かっていますか？

知っていますか？

僕について、どう思いますか？ なんて

聞けるわけ、ないって（笑）

「愛してる」 答えは、これでお願い します

君が遠くに行ってしまう前に、伝えたいこと。

それは、君についての 僕の気持ち一

僕について、どう思いますか？ なんて

聞かれて、ないけど

「大好きだ」 答えを先に、言って おきます

フラワーガール

今日も 見たんだ 君の夢を
最近 ほぼ毎日 見ている
夢の中 ではね 私と君は 恋人なの。

窓を開けて 空を見て 背伸びしたら、
ため息が出た。
夢の中では 恋人だけど 現実では、
友達以上じゃ ない。

とりあえず、メールでも打とうか？
それとも、いっそ デートでもしようか？
なんて、考えて、結局 今日も寝てしまうの

私に水をください。
君の笑顔という水を。
君の笑顔が無いと、私という花はすぐに
枯れて、消えて、なくなってしまうわ！

今も 考えてるんだ 君の事を
最近 いつも 考えてる
どんな時 でもね 私は君を 思ってるの。

思いついて ドアを開けて 飛び出したら、
ため息が出た。
頭の中では 考えてるけど 実践では、
何も出来て ない。

とりあえず、コンビニでも行こうか？
それとも、いっそ 君に会いに行こうか？
なんて、考えて、結局 今日も目を閉じるの

私に水をください。
君の笑顔という水を。
君の笑顔が無いと、私という花はすぐに
枯れて、消えて、なくなってしまうわ！

その前に

その前にー

私に水をください。

君の笑顔という水を。

君の笑顔があれば、私という花はすぐに

キレイな、花に、生まれ変われるの！

私に 君の 笑顔を くださいー

青空ヒコーキ

今にも、あふれそうな思いを
空に向けて、飛ばしたんだー

退屈な日でも、君の笑顔を見ていると
なんだか、ちょっと にやけてしまう
気づかれないように、空を見上げた。

目に映るのは、どこまでも ただ青い空
あの空みたいに、正直にさ 思いを伝えたいよ。

そう、それだけなのね。

僕の気持ちは、今にもココから あふれそうで少し怖いよ
怖いのなら、素直にさ 正直にさ 伝えればいいのにさ
そんなことは、出来ない 怖がりだから
ただ青い、空に向けて、呟いたんだー

悲しいときでも、君の笑顔を思い出すと
なぜか、嫌な事も 忘れてしまう
君に会いたくなって、空を見上げた。

目に映るのは、真直ぐ 飛ぶ飛行機
あの飛行機みたいに、素直にさ 思いを伝えたいよ。

そう、それだけなのね。

僕の気持ちは、今にもココから あふれそうで少し怖いんだ
怖いのなら、素直にさ 正直にさ 言ってしまえばいいのにさ
そんなことは、出来ない 怖がりだから
ただ青い、空に向けて、飛ばすよ

僕の気持ちを、今すぐココから 伝えたくて、伝えられず
あの真直ぐに、飛ぶ飛行機をさ 似せて作った だけのさ
紙ヒコーキに、僕の気持ちと 思い書いて
ただ青い、空に向けて、飛ばしたんだー

ラブラブ クリスマス

ほら 今日、クリスマスだ
ずっと楽しみにしてたんだ
君と一緒に笑って、ケーキを食べて
イルミネーション見て、何しようか？

考えていたら、ケータイが鳴った
もう、お迎えが来たみたい
「早過ぎない？」って
文句言いたいけど、喧嘩は嫌だよ。

ラブラブ クリスマス
君の隣で
ハッピー メリー クリスマス
笑い合おうよ
寒くても、君の温もりで
心まで 暖かくなるんだ。

そう 今日、クリスマスさ
ずっと君と話せる日だ
プレゼント交換して、「ありがとう」言って
手をつないだら、何しようか？

色々してたら、あっという間に
もう、時間が来たみたい
「もう少し…」って
我侬言いたいけど、君はどう思うかな？

ラブラブ クリスマス
君の隣に
ハッピー メリー クリスマス
もう少し
一緒に、居たいんだけど
私は 言い出せないよ。

あと少し、もう少し、ここから

離れないで、お願い
君に、手を伸ばした。

ラブラブ クリスマス
君の隣は
ハッピー メリー クリスマス
楽しくなる
ちょっとの時間でも、私は
君と一緒に 居たいんだー

無意味な詩

終わらないものなんて無いよ。」

「じゃあ、始まらないわけが無いね。」

君は、きれいごと 言うだけで どうせ 終われば
消えてしまうんだ

今日も 回り続けるこの世界

いつも 見えない目の前のもの

変わらない 意味など無い 何もいない

どうせ、終わってしまうのだから

偶然と必然が 折り重なってできる 運命の先で

君と僕はまだ ここ にいるのでしょうか？

この バカらしい世界に？

溢れるほどの言葉を 僕は使って この世界を壊してくよ

そして、無表情で無意味な詩を歌うんだ

今は、溢れるくらいの この言葉もいつか

消えて 終わり なくなってしまうけど Ah...

始まらないものなんて無いね。」

「じゃあ、終わらないわけが無いよ。」

僕は、むかんしんに 言うだけで どうせ いつかは

壊れてしまうんだ

今日も 変わらず続いているこの世界

いつも 見たくない目の前のこと

知りたくない 聞きたくない 何もわからなくていい

どうせ、終わってしまうのだから

現実と想像が 折り重なってできる 真実の先で

君と僕はまだ そこ にいるのでしょうか？

その アホらしい世界に？

零れるほどの言葉を 僕は使って この世界を終わらせるよ

そして、無感情で無意味な詩を歌うんだ
今は、零れるくらいの この言葉もいつか
壊れ 崩れ なくなってしまうけど Ah...

もしも、僕が見たくないものを ことを見たら
すべては終わって 崩れて 何か
始まり 変わっていくのでしょうか？

溢れるほどの言葉を 僕は使って 新しい世界を創ってくよ
そして、無理矢理で無意味な詩を歌うんだ
今は、溢れるくらいの この言葉もどうせ
薄れ 忘れ なくなってしまうけど

それで、いいのさ
これで、何か 変わって 終わるのなら Ah...
始まるのなら Ah...

『今』 伝えるよ。

いつかいつかと『今』になり
いつしか『過去』になりました。

まだ言えてないの。
これでいいよ。それでいいの？
自問自答も飽きてくる

思いはまだ消えてない
君はまだそこにいる
今なら間に合う。
どうしよう？

大好きもサヨナラも
いつか言えると思ってる。
大丈夫。まだ。きっと。そう、
だって、君はまだそこにいる。
届かないわけじゃない
いつかきっと伝えられる。
だから、そこで待っててね

いつかいつかと『今』になり
いつしか『未来』になりました。

まだ伝えてないよ。
それじゃだめ。これじゃだめ？
自問自答を続けてる

思いがまた大きくなり
君がまた遠くなる
今なら間に合う？
どうするの？

愛してるもバイバイも
いつか伝えれると思ってた。

大丈夫？まだ？きっと？ほら、
だって、君がまた遠くなる。
届かないわけじゃない
今から君に伝えに行くよ。
だから、そこで待っててね

いつかいつかと『過去』になり
いつしか『未来』になっていた。

これでいいの？それじゃだめだ。
自問自答がやっと終わった

いつかは『今』になりました。
だから、君に『今』伝えます
ワタシの『今』の思いをー

「 。」

「 。」

未来形恋愛

あなたはワタシを好きになる予定です。

そう、ワタシは未来から来たのよ！

正直言うと、タダノウソだけど。

本当言うと、イマハウソなだけ。

言うとおりになるから、ちゃんと見ててよ！

なんて、電波みたいなこと言ってしまった

やっぱり私は、嘘つきだ。

そんな能力もちろんないし、

好きにさせる自信もないし、

今更、「前言撤回」 無理ですよ？

私は未来からきたんだよ。

そういうコトにしておいて。

興味持たせるための、ウソだけど！

大丈夫。そのとおりに、なればいいんだよ。

とりあえず、今日はオヤスミ！

あなたは絶対ワタシを好きになる。

そう、ワタシは予知能力者なのよ！

正直言うと、イマハウソだけど。

本当言うと、やっぱり ウソで。

言ったとおりにするため、頑張らないと！

なんて、馬鹿みたいなことになってしまった

やっぱりそんなの、無理なんだ。

そんな能力もちろんないけど、

好きにさせる自信もないけど、

今から、「有限実行」 しようかな？

私は予知能力者なの。
そういうコトにしておいて。
好きにさせるための、ウソだけど！
大丈夫。そのとおりに、してみせるから。
とりあえず、オトモダチから、始めようか！

私は嘘つきなんだ。
結局、そういうコトで。
言ったとおりにするため、たくさんの嘘をついた！

私の恋は嘘だらけだよ。
そういうコトなんだけど。
本当のコトもあるんだ。
例えば—

私はあなたが好きです。
そう、これは本当のコト。
今まで、たくさん嘘をついたけど！
大丈夫。言ったとおりに、なったでしょ？
とりあえず、返事キカセテ！

基本と数字と順番通り。

人差し指 立てて 1 (わん)

中指も 立てて 2 (つー)

薬指も 立てて 3 (すりー)

小指も 立てて 4 (ふおー)

親指だけ 逆さまに 立てて ハイ、地獄へ 5 (ごー)

いつもどおり、順番通り

目が覚めたら、色々して、行かなくちゃ。

帰ってきたら、色々して、眠らなくちゃ。

目が覚めた、眠ろうか。それをずっと、繰り返すんだ

ちょっとした変化ではさ、僕は何も変わらないよ

「暇だなあ」って言う暇はある。

「やりたいな」ってやる気はない。

これが、これで、これだから。

それが、それで、それだから、もう。

順番を変えるのは面倒だな、、、嗚呼

5 4 3 2 1 (ごーよんさんにーいち) で、ほら

また目を開けないと、いけないんだ。

1 2 3 4 5 (いちにーさんしーごー) で、ほら

また目を閉じないと、閉じないと。

面倒なんだ、僕は基本に忠実なだけだ、順番通りに数えるだけさ。

そう、そう？

いつものように、順番通り

目が覚めたら、何をして、どこへ行くんだっけ？

帰ってきたら、何をして、どうしてたんだっけ？

目が覚めた、忘れてた。それをどう、思い出すんだ？

これだけの变化じゃあさ、僕が全て変わってしまう

「嫌だなあ」って嫌なのかな？

「変わりたいな」って変わる気はない？

あれが、あれで、あれだから。

どれが、どれで、どれだから、もう。

順番を変えるのは面倒なのに、、、嗚呼

5 4 3 2 1 (ごーよんさんにーいち) で、ほら

また目を開けないと、いけないのか。

1 2 3 4 5 (いちにーさんしーごー) で、ほら

また目を閉じないと、もう、もう、もう。

面倒なんだ、僕は数字に忠実なだけだ、順番通りに数えるだけさ。

そう、だろ？

人差し指 立てて 1 (わん)

中指も 立てて 2 (つー)

薬指も 立てて 3 (すりー)

小指も 立てて 4 (ふおー)

親指だけ 逆さまに 立てて 嗚呼、また地獄へ 5 (ごー) か。

5 4 3 2 1 (ごーよんさんにーいち) で、もう

また目を開けなくても、いいんだろ。

1 2 3 4 5 (いちにーさんしーごー) で、もう

また目を閉じなくても、ほら、ほら、ほらー

やりたいことをやりたいように

やっていけばいいと、僕が言ったんだ。

基本も数字も順番なんて、変えてしまおうか。

ほら、もう。

freeタイム girlワールド,

教室に入ると 世界が狭くなるようだ
「おはよう」 別にしたくもない挨拶を響かせる
可哀想なクラスルーム

起立と着席と UP DOWNしてるだけだ
「おやすみ」 誰にも言えないので君に言おう
枕変わりのデスク君

特に変わり映えのない エブリデイ・ワン 笑顔振りまいている
あの子 どこの子だ まあ、どうでもいいけどさ
どこまで届くかな このアタシの 心長で

複雑すぎる 問題を 抱える アタシはチルドレン
言葉なんて 曖昧は どうしてあるの さ
綺麗と汚いは どうしたって 表裏一体
この抛のさ 価値観はどうせ ファッション パッション

家に帰っても 結局世界は狭くなる
「おかえり」 別に嬉しくもない挨拶が聞こえる
窮屈なマイホーム

何がしたいのか yes no know知らないけど
「おやすみ」 言われてもまだアタシは寝ませんよ
財布変わりのファミリーさん

特に興味が湧かない エブリデイ・シング ひそひそ話している
あの子 どこの子だ いや、どうでもいいけどさ
どこまで生けるかな このアタシの 芯臓で

簡単すぎる 問題を 説けない アタシはチルドレン
表情なんて 曖昧は どうしてあるの さ
美しさと醜さは どうしたって 表裏一体
この燃のさ 平和はどうせ イミテーション でしょ

どこに行っても 世界がずっと狭いのなら

「さよなら」 別に悲しくもない別れの挨拶は できそうもないな
出来損ないのワールドに

複雑すぎる 問題を 抱える アタシはチルドレン

言葉なんて 曖昧は どうしてあるの さ

綺麗と汚いは どうしたって 表裏一体

この拠のさ 価値観はどうせ、どうせ イミテーション Ahー

残念すぎる 問題を 重ねる アタシはチルドレン

情報なんて 曖昧は どうして どこにもあるの

善意と悪意はさ どうしたって 表裏一体

この世のさ 価値観はどうせ ファッション パッション

どこまでいこうかな このアタシの 心体で

思考の幸せ

特に生きる意味はなくても
満腹だ それだけで 満足かな。
眠たい目を開いて、カーテンを開けようか ああー

バスに揺られて 君の家に行く途中
どうやら渋滞 ココはモノが多過ぎるもんな。
それはそれで、賑やかだから、好きだけどさ
これはこれで、うるさすぎて、嫌いかもね

とりあえず 君に会えたなら 何をしようか
できとうに ゲームでもして 遊べばいいか

ああ、バスの心地いい、揺れに身を任せ、ちょっと ひと眠りさ。

何も考えずに生きられたら どれだけ楽なことなんだろう
でもさ、君は、考えなさすぎだ。ちょっとイラつく くらいな
何も思えずに生きていたら どれだけ嫌なことなんだろう
だから、僕は、考えてみたんだ。僕と君とみんなで 笑えること。
それが どれだけ 幸せなことか あああー

別に生きる意義がなくても
満足だ それだけで 満喫してるかな。
眠たい目を開いて、カーテンを開けようか ああー

電車で揺られて キミの家に行くところ
なにやら事故が ココは色んなコトが起きるもんな。
それはそれで、迷惑だから、嫌いだけどさ
これはこれで、騒がしくて、好きかもね

とりあえず キミに会えたなら 何を話そうか
できとうに 思ったことを 話せばいいか

ああ、電車の心地いい、揺れに身を任せ、今日も ひと眠りさ。

いつも考えながら生きていたら どれだけ嫌なことなんでしょう
だから、キミは、考えすぎなんだ。ちょっとムカつく くらいな
いつも思わずに生きられたら どれだけ楽なことなんでしょう
でもさ、僕は、思ったんだ。僕とキミとみんなで 笑えるとき。
それが どれだけ 幸せなときか あああー

ああ、この心地いい、時間はいつまで続くかな？
ああ、それでも幸せな、ときに身を任せ、ちょっと ひと眠りさ。

何も考えずに生きられたら どれだけ楽なことなんでしょう
だから、考えなさすぎもいいかもね。ちょっとイラつく くらいは
いつも考えながら生きていたら どれだけ嫌なことなんでしょう
でもさ、考えすぎもいいのかも。ちょっとムカつく くらいは

いつも思わずに生きられたら どれだけ楽なことなんでしょう
でもさ、僕は、知っていたんだ。幸せと思える 大切さを。
何も思えずに生きていたら どれだけ嫌なことなんでしょう
だから、僕は、考えてみたんだ。僕と君とみんなで 笑えること。
それが どれだけ
幸せなことか あああー

大切なときか

詞の説明等

ここまでご覧してくださって、ありがとうございました。

ここから、何個かの詞の説明等をしていきます。

(アマオト) お別れの言葉を言えず、彼氏が逝ってしまい、悲しむ女の子の歌。

(ラ の 歌) (タ の 歌)

この二つの詞はつながっているのですが、タ の 歌は作成日に関係なく、ラ の 歌の次のページにしています。

まずは、「ラ の 歌」とは。

戦争で家族を亡くし、身寄りが無くなった少女が自殺する前に歌った、理想と現実、悲しみと苦しみの歌 です。

この少女が自殺した原因は、もうひとつありました。それが、「タ の 歌」の最後の部分の歌詞に関連してきます。

「タ の 歌」歌に出てくる少年も、「ラ の 歌」の少女と同じような境遇でした。そして、少年も自殺しようとしています。

しかし、そこで「ラ の 歌」に出てくる少女に出会います。それが、「タ の 歌」の最後のところ です。

少年と少女は、自然と惹かれあい、恋人になります。しかし、彼らが出会ってから数年後、また戦争が始まりました。

戦争中に少女は兵隊に見つかり、殺されそうになります。それを少年はかばおうと、拾ってきた銃で兵隊を撃ちますが、兵隊も銃を撃ち、どちらも死んでしまいました。

そして、生き残った少女が自分の苦しみ、家族と少年への思いを歌ったのが「ラ の 歌」ということです。

(*フラワーガール*) 自分だけに見せる彼の特別な笑顔が欲しい、片思い中の女の子の歌。

(『今』伝えるよ) 事情により、引っ越すことになった女の子が告白しようとする歌。

(freeタイム girlワールド,) 抛&撚(よ・世)と読みます。

「言葉(表情・情報)なんて 曖昧は どうしてあるの さ」...言葉も表情も情報も、本当か嘘か分からない。なので、曖昧ということです。 「価値観はどうせ ファッション パッション」...価値観は他人の言動で変わる(流行)価値観(考え方)を意図的に変えさせようとする(情熱、宗教的な)・・・まあ、なんとなくで。

(思考の幸せ) 思考 (至高) ココ (地球) モノ (者、物) 一番の君と二番のキミは違う人です。

思い、考え、誰かと一緒に笑えることは、とても幸せなことで、大切なとき。みたいな歌。

あとがき

はじめましての方、はじめまして。草花 小路（くさか こみち）という者です。
あとがきのあとがき、というのもどうかと思いますが…。まあいいか。

正直、書き始めた頃の歌詞は、載せたくありませんでした。恥ずかしすぎるので。
多分一年後には、最近書いた歌詞も載せなかったらよかったのに、と思ってる気がします。という
うか、これ自体何故作ったんだ、とか思ってそうですね。うわー。まあ、ここまで書いて消す気
はないので、一年後の自分に後悔してもらうことにしましょう。一応、謝っておきます。ごめ
んね、一年後の自分。

さて、私が何故これを作ったか言うと…特に理由はありません。ただ、最近作ってないな～、
と思ったので、なんとなーく作ってただけです。また、歌詞を書き出したのは思いつきです。
別に、将来の夢が作詞家とかではないです。

「はじめに」 に書いていたように、これに載っている詞に曲を付けたりして下さる方は、是非
お願いします！…いや、いないと思うけどねっ！曲とか付けてもらえたら嬉しいじゃんっ！！
…すみません。えーっと、また、それをどこかで公開されたりする場合は、どのような方法でも
いいので、ご連絡お願いします。

これに載っている歌詞はすべて、マイスタミュージック というサイトで作成し、公開している
作品です。

[マイスタミュージック](#)では、鼻歌で簡単作曲や作詞ができ、テロップを付けてカラオケも作れ、
歌うこともできます。自分の作品を公開可能。無料です。是非、ご利用ください。（ちなみに、
私のユーザー名は[ゆきだるま](#)です。）

また私が何かを書いたときに、あなたが読んでくださることを願って。 平成23年 10月22日
草花 小路

何か色々 作詞集。

<http://p.booklog.jp/book/36658>

著者：草花 小路

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/inoueky/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/36658>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/36658>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.